



東京部会(第88回)

日時:	2016年12月27日(水) 17:30-18:30
場所:	慶応義塾大学研究棟 446 会議室
参加者:	[順不同・敬称略] 篠原(京都学園大)、加藤(慶應義塾大学)、河原典(立命館大学)、河原和(立命館大学他)、石山(東京証券取引所)、竹内(浦河一中)、高橋(清真学園)、塙(都立府中東高)、升野(筑波大学附属中)、金沢(都立桐ヶ丘高)、金子(神奈川県立平塚農初声分)、飯島(神奈川)、梶ヶ谷(昭和音楽大学)、芦名(埼玉県立飯能高)、玉蟲(開智学園)、弓矢(四日市商)、酒井(自営) 下村(京都府立山城高)、中山(京都府立園部高)、中沖(清水書院)、鈴木(日本経済教育センター)、絹川(京都学園大学)、山口(加藤ゼミ)、新井(上智大学)、以上23名

(1) 冬の教室の後の部会だったため、参加者の自己紹介を行った。

(2) 年次大会の内容確認を行った。確認内容は以下の通りである。

2017年3月25日(土) 13:00~17:00 京都学園大学太秦校舎。テーマは、新科目「公共」と経済教育とする。プログラムは以下のとおりとする。

第一部 主権者教育に経済教育からどのような貢献ができるかの問題提起と討論

「問題提起:主権者教育の新たな課題と経済教育」

大杉昭英(国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長)

「授業提案:二つの選挙モデルを通して投票の意義を考える体験型の授業」

金子幹夫(神奈川県立平塚農業高等学校 初声分校)

「問題提起と授業提案を受けて:主権者教育に経済教育からの風を」

新井 明(上智大学非常勤講師)

第二部 中高校が政策内容を理解し、比較・選択できるようになるための教材提案

「超少子高齢化と年金・社会保障の在り方」の授業

升野伸子(筑波大学附属中学校 教諭)

内容に関して、金子先生、升野先生から授業提案の概略の説明が行われた。

(3) 部会報告、活動報告、教材検討など

①冬の経済教室(札幌) 2017年1月28日(土) 13:00~17:00、場所:札幌教育大学サテライト教室、に関して札幌部会から出席された竹内先生より内容の紹介と取り組み状況の報告があった。

②来年の夏の経済教室(東証との共催)の日程の確認と内容準備の要請があった。日程と会場は以下のとおりである。

8月3日(木)、4日(金) 名古屋(ういんくあいち)

8月7日(月)、8日(火) 大阪(国民会館)

8月14日(月)、15日(火) 東京高校(東証ホール)

8月17日(木)、18日(金) 東京中学(東証ホール)

内容に関しては、10年目なので総括的な内容、また、次期指導要領関連の内容などの企画を考えることとなり、次回東京部会までに骨子提案をしてゆくこと(講演、講義、シンポジウム、見学など)が確認された。



③各種プロジェクトの現状報告などが行われた。

部会間交流では、名古屋部会への東京からの出席、札幌部会への大阪部会からの出席など部会間交流の実績が紹介された。

プロジェクト関係では、大学入試プロジェクト、高校入試プロジェクト、教科書分析プロジェクトの現状が篠原代表から説明された。

(4) 実践・情報提供関係

①実践報告は、時間の関係もあり今回はなかった。

②情報提供では、篠原代表から、社会保険に関する人口変動の問題を扱った野口悠紀雄氏の文章が紹介されて、世代間の負担と給付問題がこれからの経済学習で注意が必要な領域となることが指摘された。

③金融広報中央委員会からのセミナーなど他団体からの参加要請が紹介された。

5) 参加者による実践紹介

今回は、他の部会や初参加者が多かったこともあり、参加者からの実践の取り組みの簡単な報告があり情報交換を行った。

今回の部会は、多くの参加者を得て、実践への検討の余裕はなかったが、ネットワークの活動の現状と参加者の実践や取り組みの情報交換の場として有意義であったといえよう。

(文責 新井)

次回開催予定:2月9日(木)日本大学経済学部会議室、19:00～。夏の教室の内容の検討、参加者の実践の検討など。